

ライブ毎刊びゃっきープレス

2005

無料配布

あたりまえ

7 月 18 日号

ライブ当日発行

発行 (謝)びゃっきーライブ連盟

<http://www.satram.jp/byacky/>

byacky@satram.jp

配布 びゃっきーご本人かライブハウスの人

byacky press



役にたたない偏重サイト
情報がグレードダウン!!

アクセス不要

<http://www.satram.jp/>

info@satram.jp

早くも夏バテ! ?

海の日記念 KAZTOU ライブ

びゃっきーがホームグラウンドのライブハウス KAZTOU で行う、海の日ライブ 2005 が 7 月 18 日に行われる。夏満開の世間をよそに、びゃっきー自身は仕事のストレスと疲れでグロッキー状態。それでも謎の丸薬「陀羅尼助丸」の力も借りて胃腸を整え、虎視眈々とピアノ版「TUBE」の座を狙っている。ソロになって約一年になるびゃっきーの「夏」ライブに期待が集まっている。



夏です! 海です! 寒そうです!

陀羅尼助丸の効果は?

下北沢の L O F T ライブを終え、新たな一歩を踏み出したびゃっきーが、ホームグラウンドのライブハウス KAZTOU で、海の日ライブに挑む。仕事が多忙でストレスが降り積もる中、気丈にも明るく元気に振る舞おうとするも、三半規管の衰えは隠せず、まっすぐに歩こうとしてもフラフラとなる始末。胃が痛いのだ、頭が重いのだ、まわりもてあまし気味。病院へ行け」という声もちらほら。ところが「美容院へ行け」と聞き間違えたびゃっきーはその足で散髪へ。しかもあることが、夏はスッキリしたいし」と美容院ではなく床屋へ直行。極めて心配な状況。

後日びゃっきーは「病院」と「美容院」を取り違えていたことに気付くも、「病院はヤダ。悪いところが見つかったて手術とかならイヤヤヤ」と逃げ腰。「早くに大病が見つかった方がいいんじゃないの」というまわりの指摘にも、「この貧弱な体が手術に耐えられると思う?」と理論武装で切り返す。「確かに耐えられないかも」とみな一様に納得。病院は先送りとなった。

それでも心配した仕事場の同僚から「陀羅尼助丸」という漢方薬をもらったとのこと。由緒正しい胃腸薬らしいが、なんと読むのかわからない。仁丹ほどの大きさの黒い丸薬で、1 回に 30 粒、食前または食間に 1 日 3 回服用。味は「墨汁のよう」だそうである。「墨汁を飲んだことがあるのか」と聞くと、「いや、飲んだことはないけど、よく猿の味と言っちゃんでも

実際は食べたことないですよ。それと同じだよ」という答えが返ってきた。ちなみに筆者は「猿の味」というのを聞いたことがない。本当に大丈夫なのか。脳にきていないといいのだが。

そう言えは「クロイツフ エルト・ヤコブ病」関連である時期に渡英経験がある。と献血ができないらしい。狂牛病の牛肉を食べているかも知れず、その影響がわからないためだ。実はびゃっきーもそれに該当するらしい。しかも「イギリス行った時? もちろんステーキを食べたよ」とのこと。「その前に立ち寄ったフランスでは仔牛の頭を食った。メニューを見てもなんだかわからなくて、適当に頼んだんだけど、プロフヨリしてすげえ気持ち悪かった。しかも食ってる最中はそれがなんだかわからなかったから不安で不安で。宿に戻って辞書で調べて、仔牛の頭だとわかってホッとした」と言っていた。本当に脳にきていないといいのだが、「献血を断るいい理由になるよ」とのん気さをアピールするも少しナーバスになっているのか「スポンジ」という言葉が出てきただけで「オレの脳はまだスポンジになっちゃいない!」と力説を繰り返すなど、むしろ不安をかき立てられる行動に出る。

周囲の心配をよそに「うるさい! 夏はびゃっきーか TUBE かどっちかなんだよ!」とまさかの逆切れ状態。その逆切れパワーが正しい方向にライブで発揮されることを期待している。

(哀戦士)